

渡り鳥のようにそのとき一番気持ちのよい場所で働きたい。働く場所、**働き方を変える**と効率も上がる。それができる社会になってきた。家族のそばで暮らす人も、離れて暮らす人も、家族がいない人も、それぞれがつながり、地域に居場所があると安心感を得られる。五国を横断する、人と人との**リアルな交流**や関わりがあってこそ、兵庫県として存続する意義がある。子どもができるだけたくさんの大人の多様な眼差しに触れることが大切だ。特にユニークな大人との出会いが重要。一人ひとりが小さく始めていくことを推奨することと併せて、リスクを取りやすい環境を作ることが大切だ。広い意味での文化が暮らしの中核にあり、一人ひとりがそのまちに生きる価値を見出しているということが、これから重要になる。**十人十色**、人それぞれに生き方、考え方が異なるという、ごく当たり前のことを大事にする、個を尊重する社会の実現こそが重要。子育ては一人ではできない。人との関わりが絶対必要。そこは30年経っても変わらない。豊かな人間関係が子育てには必要。

## 私たちには 新しい暮らし方を発明し 後世に伝える責任がある

泣いている子どもがいたら声を掛ける、困っているお年寄りがいたら手を差し伸べるような、**温かい社会**になればいい。これからの主流は、効率化・標準化されていないローカル経済。地元で仕事が回っていく形をつくり、**顔の見える経済**をつくりたい。兵庫はもっと農業で稼げるはず。デジタル化で大きなイノベーションも期待できる。農業を産業政策のメインに据えるべきだ。60kgの人を運ぶのに2tの鉄の塊が動いている。未来の交通を考えると、もっと環境にやさしい、ヒューマンスケール、ヒューマンスピードの乗り物を大事にすべき。使い捨てのモノに囲まれた暮らしではなく、少ないモノを大切に使い続け、お金より**心の余裕**を大事にする暮らしをめざしたい。五国の多様性を活かし、ライフステージや個人の志向に応じたいろんな働き方、暮らし方ができる兵庫県をつくってほしい。スーパーコンピュータを中心とした最先端技術を活かして、より安全安心で快適なまちをつくり、日本だけでなく世界をリードできる場所になってほしい。(県民の声より)

兵庫県企画県民部ビジョン局ビジョン課  
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
電話(代表) 078-341-7711 e-mail keikaku@pref.hyogo.lg.jp  
ポータルサイト <https://hyogo-vision.com/>

ひょうごビジョン 検索



03企T2-037A4